

根氣はつきない！鼠め！やつちよるな！
鼠の息がよくわかる！
鼠めの胸は不安でをののき
小さき心臓が寒くふるへてゐる！
俺が今や！あべこべに
彼を支配してゐる事を
鼠め！すつかり感附いてゐる！
今に出て來たら一握りで
握りつぶしてやるぞ！
鼠よ！命が惜しくば

穴の中に ちいとしてゐろ！

旭川のほとりにて

○ 鮓 釣

雨で濡れた景色の中を
川は水を一杯湛へ
波は豊に頬笑みて流れる
はえを釣る人が並んで
頻りに糸を投げる
鳶は松の枯枝で
羽を繕つて啼く

はえがかゝると
 人は糸を手繰る
 人は勇しく銀色に光る魚を
 籠に入れる
 感歎の聲があがり
 話聲が高まる
 ろかいの音勇しく
 傳馬船が下つて来る
 一種の親しみが今
 生れてゐる

御聞き！向岸からはもう
 雲雀の聲が傳はつて来た！
 立つて眺めてゐた一人の人が、私に
 『浮を見てゐると
 目が疲れませうが！』と
 田舎の言葉でたづねて、笑つた！

○雲 雀（其の一）

穏な風の柔な接吻！

水底にうつる

黄金の波のリズム!

ろの響!

をとつひの雪は消え果てて

渡守の仕事は隙ない!

子供等が野火つけて騒ぐ積!

さては、小牛を荷車に繋いで

驅りたてる土手の上!

先達川向で聞えた雲雀の聲を

今、人々に雑つて

河の上で聞きとれてゐる私!

その震へた喜の聲!

感激の叫よ!

麥の緑はまだ燃え立たないけれど

お前の聲は 何と心に景色に

凡てに應しい事だらう!

春の使よ! 天の鳥よ!

お前は何處か? お前は何處か?

青空の奥深く

今日の日に輝いて 一點!

きらきらと

お前は震へてゐる！震へてゐる！

○後 樂 園

亭と枝振のよい松とが

静な蔭を 泉水の中に横へてゐる

早春の日が戯れ 穏な波が立つてゐる

鶴が一羽、こなたの岸にゐて

動かない！ 今頸をのばして

くるりと、背をなでた

嘴で土を突つついたが

肢は動かさない！黙つてゐる！

……… 私は幼時を勝手に追想してゐた！

坪庭造をしてゐた時の事を！

私は尻をはしより跣足になつて、

ぐみの木の下の池のほとりに

庭を造つた！川端や壁ぎはへ

小山を築き河を造り

魚を遊ばせた！ 友達同士が

何と互に競争し 誇り合つた事だらう！
 そして私は 彼の女の庭が
 一番すぐれてゐる事を
 心ひそかに 認めてゐた！
 築山をまがつて行つた
 泉のほとりの苔の天鷲絨！
 瀬戸の唐獅子！瀬戸の大鳥居！

○雲

雀（其の二）

雲雀よ！雲雀よ！
 旭川の雲雀よ！
 お前は春の來ない中に立つて
 空に歌つたけれど、
 まだ長い此の冬を 何うしてくらす！
 昨夜夢に訪れたお前の宿！
 住家もない谷を通り
 水音もれる洞穴を叩いた。
 鳥籠の中に珍しい色々の鳥がゐた
 お前の夫婦が一番

私を歓迎してくれた！
 昨日、實は、心配して
 雪解のぬかつた道を 旭川の堤迄
 お前の影を慕ひ 訪ねて行つた！
 あだではなかつたのか
 夢でお前にあへたとは！
 併し、かうしためぐりあひが
 死者の靈とのめぐり合ならば
 雲雀よ！ お前は
 をとつひの雪で うもれたのか？！

かはいさうな！ かはいさうな！
 お前は決して そんな事は
 あるまい！ そんな事はあるまい！
 おゝ！ 愍然な旭川の雲雀よ！

○雲 雀（其の三）

風が寒いのに、 磧の枯草が
 一面におびえて悲しみそよぐのに、
 水溜も池も 氷がすつかり

とざして 眠つてゐるのに、
 渡守は土手蔭に舟をとどめて
 ともで爐をかこんでゐるのに、
 お前一人は歌つてやまない！
 喜んで勇んでやまない！
 雲にうかび 青空に消え
 風にさからひ 愈々昇り
 狂喜と勇氣の歌をみなぎらし
 益々美しく、益々高く！
 感激と熱情とをもつて

憧憬し、讚美する 休みなき姿よ！
 お前は天使であるか?! 詩人であるか?!
 お前、休みなく喜べる者よ！
 お前、酔へる者よ！ おお！

— 完 —

大正八年九月十日印刷
大正八年十月十五日發行

詩集こけもゝ

【定價金壹圓參拾錢】

著作者

藤 森 秀 夫

發行者

東京市本郷區本郷四丁目四番地
山 添 平 作

印刷人

東京市神田區錦町三丁目十九番地
丹 羽 誠 次 郎

印刷所

東京市神田區錦町三丁目十九番地
忠 義 堂

不許複製

發行所

東京市本郷四丁目
電話小石川二三二七

文武堂書店

振替東京九五二七

通 信 販 賣

- 毎月新刊月報は郵券六錢を封入御申込被下度候
但書籍御注文者は無代にて進呈仕候
- 弊店は孰れの發行圖書雜誌に不拘各發行元と特約し價格は低廉に懇切
を旨とし迅速に取次販賣仕候
- 御注文は多少に不拘總て前金を申受候若し代金引替の御指定の際は三
分の一以上前金を添へ且普通代金以外に金拾錢増金申受候
- 御送金の節は可成振替貯金に御拂込被下度候若し爲替券の節は必ず書
留郵便にて御差出し願上候
- 但振替は安全なる代りに多少着金遅延仕候間豫め御含み置被下度候
- 御注文書は著者書名發行元等明瞭に御記載被下度候
- 本書の御購讀者に限り御注文品の送料は弊店にて負擔仕候
但雜誌、教科書、法、醫書、舶來書は除外仕候

東京市本郷區本郷四丁目

文 武 堂 書 店

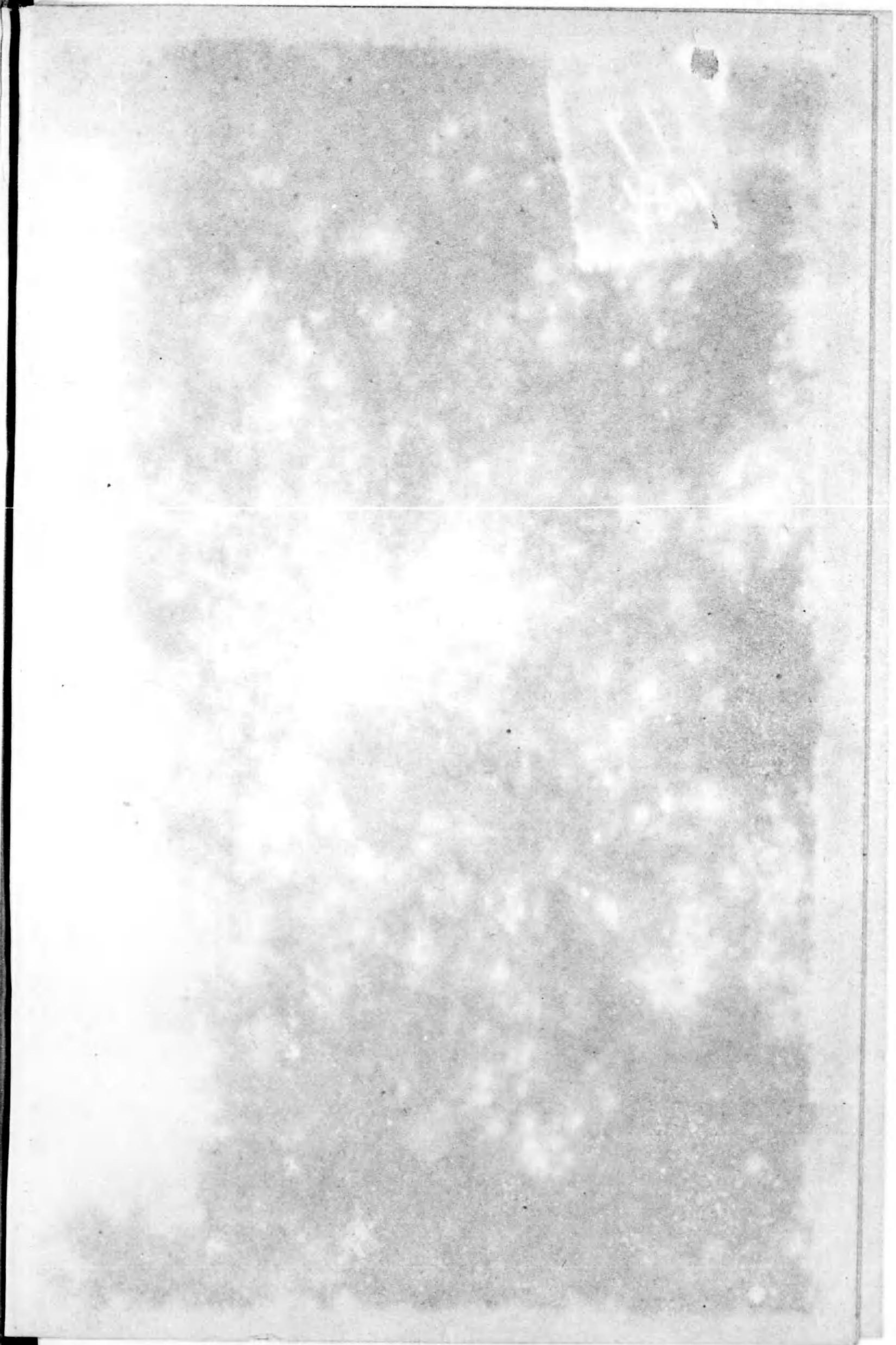
振替東京九五二七番
電話小石川二三二七番

文 武 堂 發 行 書 目

- 邦 芥子園山水畫譜 森田但山譯 全一册 菊判洋裝挿畫二百七十圖 定價金六圓 送料十八錢
- 邦 芥子園人物畫譜 森田但山譯 全一册 菊判洋裝畫面百三十餘頁 定價金三圓五十錢 送料十八錢
- 寫眞 盆景の作り方 小村智葉著 全一册 菊橫判大和綴實景六十餘圖 定價金二圓 送料十二錢
- 會社創立と破綻 岩本善文著 全一册 四六判上製三百二十頁 定價金一圓五十錢 送料八錢
- 通俗 奇問正答 宮武外骨著 全一册 四六判上製紙數四百餘頁 正價金一圓五十錢 送料十錢
- 面 白半分 宮武外骨著 四六判並製紙數二百二十餘頁 正價金六十錢 送料四錢
- つむじまがり 宮武外骨著 四六判並製紙數二百十餘頁 全一册 正價金六十錢 送料四錢
- 新らしい詩とその作り方 室生犀星著 四六判上製紙數二百五十餘頁 全一册 定價金一圓二十錢 送料八錢

○註	○平	○鏡	○小	○詩	○最	○抒	○妊婦の養生と産兒の爲に	○第二愛の詩集
フ	野	花	小	集	近	情	の養生と産兒の爲に	愛の詩集
ア	野	隨	さ	「海	性	小	の爲に	の詩集
ウ	野	筆	き	港	慾	曲	の爲に	集
ス	野	筆	芽	港	學	集	の爲に	集
ト	野	筆	芽	港	學	集	の爲に	集
東	長	泉	市	柳	澤	室	澤	室
森	與	鏡	河	村	田	生	田	生
田	善	鏡	彦	澤	順	犀	順	犀
草	郎	花	太	熊	太	星	太	星
新	著	著	郎	田	郎	著	郎	著
著			著	著	著		著	
全一册	全一册	全一册	全一册	全一册	全一册	全一册	全一册	全一册
四六判上製紙數四百餘頁	四六判上製紙數四百餘頁	ホケツト形紙數三百餘頁	四六判並製紙數三百五十頁	四六判上製紙數二百二十頁	菊判上製紙數四百餘頁	三六判裝幀優雅紙數二百頁	四六判上製紙數三百餘頁	四六判上製紙數三百五十餘頁
正價金一圓五十錢 送料八錢	定價金一圓七十錢 送料十錢	正價金九十五錢 送料八錢	定價金一圓 送料八錢	定價金一圓二十錢 送料八錢	正價金二圓 送料十錢	正價金一圓二十錢 送料八錢	正價金一圓三十錢 送料八錢	定價金一圓五十錢 送料十錢

179
1084



終

